

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2020年 3月 11日

公表: 2020年 3月 12日

事業所名 ぶちま〜

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動の内容によって、少人数制にして場所をそれぞれ確保して取り組んでいます。活動ごとに物品を準備しスペースが確保できるよう努めています。	活動スペースが狭いと感じる時がある。活動に応じて取り組む場所や時間の工夫をしていきます
	2	職員の配置数は適切である	○		法令で定められている基準以上で職員配置をしています。	職員間での連携を強化し手厚い支援に繋がっていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		物品の保管場所は定められており、利用児にも定着している。事業所の構造上、バリアフリーではないが、活動を通して周知している。	遊び道具の使い方や片づけ場所等、視覚的にもわかりやすい表示ができるよう努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		季節を感じられる掲示物を子供たちと一緒に作るようにしています。	環境整備に努めていますが、行き届いていない部分もあるため、定期的に細かい箇所等も整備を行っていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に支援会議を行っています。	定期的な会議と職員間の共有を深め、目標設定と振り返りに努め業務の効率化を目指します。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1回は保護者からの評価を頂いています。定期的に面談を行うことでご家族からの意向をお聞きしています。	送迎時に保護者の方々が話しやすい環境作りを継続していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表しています。	ホームページの公表に加え、文書にて保護者の方へお知らせしていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	他事業所と情報交換を行いながら業務改善を検討しています。	現在のところ、外部評価は受けていません。今後、外部の機関へ依頼していくことを検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		行政が行う研修や外部の研修に参加しています。	研修で得た知識やスキルを支援の中でアウトプットできるようにしていきます。また、事業所内で共有していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		送迎時とSNSを活用し保護者と情報共有をしています。支援会議等で職員間で課題を検討し支援計画の作成をしています。	支援会議、面談、支援計画の作成など、本人を中心にご家族の意向を1つずつ丁寧に聞き取り確認しながら進めていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		他のアセスメントツールを参考にして事業所のアセスメントシートを作成し使っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個々の状況に応じて兄弟姉妹も含め面談等による支援を行っています。地域に定着しやすくなるために、地域の行事にも本人、ご家族と一緒に参加しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		活動前には支援計画の確認を行ったうえで支援に入るようにしている。	記録時も支援計画の目標や留意点を確認しながら記録しフィードバックしていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間でアイデアの抽出を行っています。	職員会議にて活動の目的や進め方を意見交換しながら、より良いプログラムを検討していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合ったプログラムを取り入れています。	活動の様子を見ながら、プログラムの修正やアレンジをしていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個々の状況に合わせた内容にしています。	活動やプログラムの中から個別支援計画の目標や留意点に注目しながら支援計画の作成に繋がっていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時に活動内容と担当を確認し表示もしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	職員全体で支援内容を振り返ることが毎日できないため、日報と連絡ノートでの共有と重要なことは翌日の朝礼で再度、周知確認を徹底するようにしている	職員間での振り返りや共有する時間がゆとりを持って作れるよう業務の改善を検討していきます。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		職員で振り分けをしながら記録をしている。記録をする時は支援計画に合った支援をしているか振り返りと確認を行っている。	支援会議で課題や効果等が明確になるような記録の書き方ができるよう職員間で学んでいきます。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		職員会議で共有と話し合いをしています。その後、保護者の方と面談を行い支援計画に反映するようにしています。	必要に応じてモニタリングの時期を早め見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議の前に職員から情報収集をしたのち、担当者会議に参加しています。必要に応じて関わりの強い職員も参加できるよう職員配置を調整しています。	ゆとりをもって担当者会議に参加できるよう職員配置にもゆとりが持てるよう努力していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関とは連携を取りながら支援を行っています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			医療的ケア対象児は現在いませんが、食の配慮や歩行に向けての訓練が必要な場合は医療・関係機関と連携を取っています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			医療的ケア対象児は現在いませんが、食の配慮や歩行に向けての訓練が必要な場合は医療・関係機関と連携を取っています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		サービス担当者会議にて情報共有を行い、必要時には移行先の機関と直接連絡を取り相互理解に努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の方を通じて情報共有を行ったり、相談員と連携を取りながら移行先の学校との話し合いの場を設けてもらい相互理解の機会を作っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		行政や専門分野から発信された研修には積極的に参加をしています。	相談事業所や外部の専門職員から助言を頂く機会を増やしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		ワークショップの開催や地域のイベントに積極的に参加するようにしています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会が開催することも部会には必ず参加をしています。	地域の子供に関する話し合いやイベントには積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時には、その日の様子を個々に伝えるようにしています。SNSを利用して、その日の活動の様子を写真等で発信しています。	保護者の方から家庭や園の様子を教えもらいながら、情報収集と共有に努めていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		面談時に個別で対応しています。	今後は、保護者向けの勉強会を定期的に行けるよう計画していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に説明し同意を頂いています。	内容に変更があった際は、その都度、説明し同意を頂いています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画の内容説明を行い、訂正・変更部分がないか確認したのち同意をいただくようにしています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時など随時、相談して頂けるよう、契約時にお伝えすると共に面談も行っています。メールでの相談にも対応しています。	相談しやすい環境作りを今後も継続して行きます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		不定期ですが、ワークショップやイベントを開催することで保護者同士が交流できる機会を作っています。	保護者の方々の状況に合わせて開催できるよう、開催する曜日や時間を今後検討していきたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や迅速な対応が必要な際は速やかに対応させて頂くようにしています。開所時間外で緊急時にも対応できるよう、緊急連絡先をお伝えしています。	職員間での連携を強化し報告・連絡・相談をしながら迅速な対応に努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSを活用して発信しています。連絡事項や変更が生じた場合は文書でのお知らせもしています。	SNSだけでなく定期的な会報の発行ができるよう検討していきます。

非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		法律に基づき契約時に説明を必ず行い、同意書にて同意を頂いています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		情報伝達しやすい方法を個々に合わせて考えお伝えするようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域の高齢者施設との交流会を1～3か月毎に行っています。事業所のイベントも地域の方々へ発信しています。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルは策定してあります。防災訓練も消防署に届け出を行った後訓練を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実際の避難場所まで危険個所を確認しながら訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に必ず確認を取るようになっています。変更があった場合は速やかに情報の更新に努めています。	非常時に迅速に対応できるよう、服薬や発作時の対処方法や緊急連絡先や医療機関の連絡先が載った個人の緊急カードの作成を検討している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在、該当する児はいませんが、必要時は必ず医師の指示のもと対応していきます。	契約時アセスメントにて情報収集を行い、必要時医師の指示書をいただけるよう、保護者との連携に努めます。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットのフローチャートや事例を作成し事業所内で共有している。	ヒヤリハット発生時には、状況確認をすると共に記録を残し職員間で共有し職員会議にて対策方法や課題検討を行っていきます。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		県で開催する虐待研修には、随時参加しています。虐待の芽を少なくしていく方法としてアンガーマネジメントを取り入れています。	職員間でも虐待につながる言動や気になることがあれば互いに共有・指摘ができる関係作りに努めます。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に必ず説明し同意を頂いています。	事業所内外の研修に引き続き参加し意識を高めていきます。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。